

報道関係各位

2010年5月31日(月)

ショートショート実行委員会/ショートショート アジア実行委員会

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2010
米国アカデミー賞短編部門ノミネート候補作品を決めるのはこの5人！
アルベルト・カレロ・ルゴ、草野仁、塩谷瞬、
桃井かおり、行定勲 が公式審査員に決定

今年で12回目を迎える米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭(代表:別所哲也/開催期間:2010年6月10日~13日、6月16日~20日)は、グランプリ作品を始め、各オフィシャルコンペティション受賞作品を決める公式審査員を、アルベルト・カレロ・ルゴ(ラテンビート映画祭プロデューサー&プログラムディレクター)、草野仁(TVキャスター)、塩谷瞬(映画俳優)、桃井かおり(女優/映画監督)、行定勲(映画監督)の5名に決定いたしました。※敬称略・五十音順
なお、行定勲監督は「旅シヨット!プロジェクト」の公式審査員も兼任しています。

当映画祭では毎年、映画監督、俳優、女優、文化人の方など、幅広いジャンルの方に公式審査員をお願いしています。今回選出された各氏も、映画業界のみならず各界で活躍されており、映像の魅力を知り尽くしている方々です。

5名の審査員には、インターナショナル部門、アジアインターナショナル部門、ジャパン部門、それぞれから1作品の優秀賞を、また全てのコンペティション対象作品の中から1作品の総合グランプリを選出していただきます。

総合グランプリを受賞した作品は、2010年度米国アカデミー賞のノミネート選考対象になることが決定しています。

授賞式は、6月20日(日)に行われる「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2010 アワードセレモニー」にて行われますので、ご期待下さい。

■審査員プロフィール ※敬称略・五十音順



■アルベルト・カレロ・ルゴ
(ラテンビート映画祭プロデューサー&プログラムディレクター)

スペイン・マドリッド出身。マドリッド・コンプルテンセ大学情報学科、テレビ・ラジオ学院制作科卒業後、スペイン国営放送にて制作および制作助手を務める。その後、東京藝術大学大学院へ留学。
NHK テレビ「スペイン語会話」シナリオ、制作助手、出演や、スペイン・ラテンアメリカ映画祭委員を務める。2004年に「ラテンビート映画祭」を立ち上げ、現在まで毎年同映画祭のプロデュースを手がけている。



■草野 仁(TVキャスター)

東京大学を卒業後、NHKに入社し、主にスポーツ・キャスターとして、モンテリオール(昭和51年)及びレークプラシッド(昭和55年)オリンピックをはじめ、さまざまなスポーツの実況中継を担当。
また、「ニュースセンター9時」「ニュースワイド」のキャスターも務めた。1985年に退社後は、日本を代表するフリーのテレビキャスター、司会者として活躍。
現在、TBS「世界ふしぎ発見!」のレギュラー司会を務める。その他にも多数のCM出演や著書の発表、さらにはバラエティ番組に出演するなど、様々なジャンルにおいて精力的に活動している。
最近では、テレビ東京「北京オリンピック2008」のメインキャスターを担当した。



■塩谷 瞬(映画俳優)

1982年6月7日生まれ 石川県出身。02年俳優デビュー。
05年の映画「パッチギ」で主役に抜擢され、同作にて第29回アカデミー賞新人俳優賞、第27回ヨコハマ映画祭最優秀新人賞を受賞。以降、映画を中心に活躍しながらテレビ、舞台など活躍の場を広げている。主な出演作は、映画「ラッシュライフ」「カメレオン」「CASINO」「象の背中」「赤い文化住宅の初子」「青空のルーレット」「出口のない海」等があり、戦争映画から今どきの若者、等身大の役、荒唐感のある役からアクション映画まで幅広く演じきる演技力には定評がある。
今秋には主演舞台が予定され、年末には舞台「ジャンヌ・ダルク」への公演が控えている。



■桃井 かおり(女優/映画監督)

東京都生まれ。文学座養成所を経て、1971年映画デビュー。77年「幸福の黄色いハンカチ」で第一回日本アカデミー賞最優秀助演女優賞を受賞。以降「もう頬づえはつかない」「疑惑」などで次々と主演女優賞を受賞し代表作多数。従来の女優にはない個性の輝きと確かな演技で活躍。05年にはロシアの巨匠アレクサンドル・ソクーロフ監督作品「太陽」、ロブ・マーシャル監督「SAYURI」に出演、海外でも高い評価を得る。06年の初監督作品「無花果の顔」はベルリン国際映画祭最優秀アジア映画賞をはじめ各国で数々の賞に輝く。08年俳優としては最年少で紫綬褒章を受章。その後も「USB」で奥秀太郎監督、「AMAYA」でマリス・マーティソン監督と国内外を問わず新しい才能からのオファーにも積極的に応える。10年8月、なら国際映画祭上映作品「光男の栗」は河瀬直美プロデュースで、この新しい出会いから生まれた作品は今から注目される。次回の監督・主演作は、故市川準監督が残した企画である。



■行定 勲(映画監督)

1968年生まれ。熊本県出身。『OPEN HOUSE』(1997)で長編劇場映画初監督。第2作『ひまわり』(2000)は第5回釜山国際映画祭で国際批評家連盟賞を受賞し、演出力のある新鋭として期待を集める。『GO』(2001)では日本アカデミー最優秀監督賞をはじめ数々の映画賞を総なめし、一躍脚光を浴びる。その後、『世界の中心で、愛をさけぶ』『北の零年』『春の雪』『クローズド・ノート』などの監督作品で不動のヒットメーカーとなった。2006年に企画/プロデュースレーベル“セカンドサイト”を設立。劇場映画など映像制作の企画にも携わっている。最新作は、2010年公開『今度は愛妻家』『パレード』とBeeTVにて配信の「女たちは二度遊ぶ」。「パレード」では、ベルリン国際映画祭で国際批評家連盟賞を受賞。

上記公式審査員 5 名によって選出される賞

■優秀賞(インターナショナル、アジア インターナショナル、ジャパン各部門で 1 作品):賞金 60 万円

・インターナショナル部門

当映画祭史上最も多い3004作品(75カ国)から選ばれた、世界最高レベルの38作品が大集結！特別招待作品には、ナタリー・ポートマン初監督作品「EVE」を日本初上映。

・アジア インターナショナル部門

13カ国 551作品から選ばれた、珠玉の13作品をご紹介します。特別招待作品には、韓国版「花より男子」のク・ヘソン監督作品「The Madonna」を上映。

・ジャパン部門

日本の底力を見せ付けた、273作品から選ばれた11作品を上映。特別招待作品として、行定勲監督の幻のアニメーション「ぼらの寝顔」も大公開。

■グランプリ(上記部門の優秀賞受賞 3 作品から最優秀賞 1 作品を選定)

映画祭公式サイト:<http://www.shortshorts.org/2010/>

Twitter:http://twitter.com/s_s_f_f

■一般のお問い合わせ先

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (略称: SSFF & ASIA) 事務局

TEL: 03-5474-8844

■報道関係の皆様からのお問い合わせ先(作品写真紙焼き・ポジ、作品VTRその他の資料の貸出等もお申し付け下さい)

<ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2010 PR 事務局>

株式会社スパイスコミュニケーションズ(内) 担当: 渡辺、浅野

TEL: 03-6230-0519 FAX: 03-6230-0524 e-mail: watanabe@spice-japan.com